

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	6月出荷見込み 千本		主産地	6月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	アバランジェ エベレスト ピンクサブライズ プリマドンナ レベッカ、レモン 他	650 (90%)	330 (90%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	40	30	30
トルコギキョウ	茨城県	10 (100%)	ボヤージュ ロジーナラベンダー クラレスピンク レイナホホワイト 他	540	440	常陸大宮市、鉾田市、 石岡市、つくば市、 つくばみらい市、 結城市、八千代市 他	40	40	20
	群馬県	7.1 (90%)	ピッコロサスノー 春うらら ダブルピンク キングオブスノー 一番星 他多数品種	220 (100%)	190 (100%)	邑楽館林 甘楽富岡 利根沼田	30	30	40
	千葉県	5 (100%)	ボヤージュグリーン、ソワレピンク、 ピッコロサスノー他多数 八重品種が半数以上	540 (100%)	380 (100%)	館山市、鴨川市、 南房総市(丸山、千倉)	10	20	70
		2 (100%)	サカタ、ミヨシ品種が中心	100 (100%)	100 (100%)	旭市	40	30	30
	静岡県	20 (95%)	ボレロホワイト レイナホホワイト こころ 海ほのか	600 (95%)	400 (95%)	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央	35	35	30
	大分県	6 (100%)	レイナホホワイト Mioシリーズ 他	400 (100%)	150 (100%)	臼杵 高田 杵築 佐伯 中津 玖珠	30	30	40
	宮崎県	2.6 (104%)	ボレロホワイト ダイヤモンドピーチ サルサマリン	100 (79%)	- -	宮崎中央 日向	30	40	30
バラ	茨城県	11 (98%)	サムライ、ワム、アバランチェ、 ノブレス、ローテローゼ、 パレオ、アマダ 他	500	400	笠間市、土浦市、 石岡市、かすみがうら 市、 つくば市、茨城町、 水戸市、結城市	40	35	25
	群馬県	15.2 (99%)	アヴァランチェ サムライ 他多数品種	840 (100%)	720 (98%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	40	30	30
	山梨県	3.8 (100%)	サムライ ローテローゼ他	330 (97%)	320 (97%)	笛吹市(御坂町)	35	35	30
	静岡県		サムライ ローテローゼ アヴァランチェ シンディ	1,800 (95%)	1,600 (95%)	JA掛川市 JA大井川 JALみず JA遠州夢咲	30	30	40
	愛知県		サムライ レッドスター アヴァランチェ ティネケ シンディ フレアー	3,200 (100%)	1,800 (100%)	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河	35	30	35
	大分県	9 (100%)	Mシリーズ Jシリーズ 他	560 (100%)	200 (100%)	九重飯田 玖珠九重	30	30	40

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季の出荷盛期は、4月下旬から5月中旬となった。6月の出荷量は、改植作業の盛期が5月中旬から6月中旬となることや、作付面積が前年よりやや少なくなっていることから、前年の90%程度と見込まれる。</li> <li>・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 主産地の愛知、山形、長野、茨城は、低温で数量が若干減少したものの、母の日の需要に向けて潤沢な入荷となった。母の日までは引き合いも強かったものの、それ以降引き合いも弱まり低調な動きとなった。</p> <p><b>見通し</b> 5月まで数量の多かった愛知、山形、長野、茨城は改植も進み、大きく減少、北海道が増加してくる見込み。品種数も減少し、ピンク、黄、白が中心となる見込み。 400,000本 @55</p> <p>FAJ 入荷量減少し、比較的安定した販売が続く見込み。入荷は長野・山形中心。</p> <p>東日本板橋花き 父の日が物日としてあるものの、あまり期待できない見込み。 世田谷花き 量減少、相場は落ち着く、業務需要中心の流れ、日持ち悪くなる時期で品種・品質格差の単価差はで 第一花き @60</p>
トルコギキョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低温の影響で4～5月出荷予定のものに2週間程度遅れがみられる。そのため、6月の出荷量が増加する見込み。</li> <li>・八千代町出荷分は昨年よりやや出荷が早い見込み。</li> <li>・品質は概ね良好。</li> <li>・生育は概ね順調であり、品質・出荷量とも平年並みの見込み。</li> <li>・甘楽富岡地域は春出荷の2番花と季咲きの1番花が重なる時期であり、4～5月より出荷量は増加する見込みであり、出荷始期となる利根沼田地域は4月まで前進傾向であったものの、4月下旬～5月の低温により、ほぼ平年並に落ち着いている。</li> <li>・生育は順調。5月下旬から出荷が始まり、6月中下旬から出荷量が増える見込み。</li> <li>・生育は良好。</li> <li>・生育は平年並だが、今月下旬から6月上旬に向けて山がくる見込み。2番花の出荷も多くなり、個人差はあるものの全体的には遅れもなく生育も順調である。</li> <li>・生育は概ね順調で、産地により切り上がりと品種の切り替えにより、上旬から中旬で出荷の谷間ができる。</li> <li>・竹田は昨年より2週間程度早い。6月末をピークと見込み、7月上旬までの出荷予定。</li> <li>・出荷量ピークの時期。4月までの低温の影響から生育が若干遅れ気味であるが、生育は概ね順調。</li> <li>・L中心の出荷。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 母の日に関してはある程度数量少なく安定した取引きとなっていたが、それ以降は徐々に入荷量も増え、それに比例するように相場低迷し、昨年より1週間早く動きが鈍った。</p> <p><b>見通し</b> 今後ブライダル需要が高まるまでは引き合いが弱く、販売に苦戦すると思われる。入荷量見極めて相場回復に努める。</p> <p>FAJ 宴会需要中心の相場形成。週末に向け相場上がり、白・桃の八重系が相場をけん引。</p> <p>東日本板橋花き 暖地の2番花等が増えてくる。天候次第だが数量潤沢の見込み。 世田谷花き 入荷も増え、各色潤沢。求めやすい価格になりそう。 第一花き ブライダル・業務中心で、産地間の単価差ははる。厳しい販売が予想される。 @80</p>
バラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷のピークはほぼ前年並みの見込み。</li> <li>・改植が予定されていることから、後半になりやや減少の見込み。</li> <li>・生育は概ね順調であり、品質・出荷量とも平年並みの見込み。</li> <li>・生育は順調である。</li> <li>・生育状況は概ね良好であるが、沿岸部と中山間地域でボリュームなどの品質格差がでてきている。</li> <li>・改植時期に入っており、数量は減少傾向にある。</li> <li>・生育状況は良好。</li> <li>・6月もある程度安定した出荷が見込まれるが、改植する生産者も見られるため、5月よりは出荷量は少ない見込み。</li> <li>・暑くなってくるため、徐々に花が小さくなるなど品質に変化が見られ始めると思われる。</li> <li>・九重は4月中の好天により前進。5月下旬は下位等級の割合高くなるが、6月に入り増加にともなって上位等級率上がる。</li> <li>・玖珠では改植中のため、5月下旬より一旦減少するが秋口までは上位中心とした順調な出荷を見込む。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 低温加温していた高冷地ものなどの出荷開始。西南暖地ものは上旬から中旬の需要期に合わせて出荷がまとまり、間に合わなかった品種などが多めとなった。</p> <p><b>見通し</b> 西南暖地では改植などに入るため、入荷量は減少傾向。高冷地も低温管理の一番花が切り終えると、入荷量は減少する見込み。</p> <p>FAJ 宴会需要中心の相場形成。週末に向けて相場上がり、週明けはやや落ち着く見込み。</p> <p>東日本板橋花き 各産地出揃ってくるが、梅雨時に入ってくるため品質面の問題が懸念される。業務需要中心で相場は保合いの展開の見通し。 世田谷花き 本格的に高冷地中心の引き合いが見られる。入荷量もさほど多くなくて、相場は横ばい。 第一花き ブライダル需要主体の流れで産地・品種による単価差ははる。SD@60 SP@70</p>